

ロザリオ型ブレスレットをつくろう

ロザリオとは・・・

ロザリオは、ラテン語で「バラのかんむり」を意味する言葉です。カトリック教会において聖母マリアへのお祈り（アヴェマリア）を繰り返し唱える際に用いる祈りの道具です。地域や文化によって様々な形をしていますが、基本となる祈り方は決まっています。10個の珠と十字架だけのシンプルなものから、大きくてメダイやキリストの像がついているものなど多種多様です。

また、ロザリオについているメダイは、「不思議なメダイ」といわれるもので、このメダイを身につけると大きなお恵みがあるともいわれてきました。

今回紹介するロザリオは、誰でも準備できるビーズを使ったロザリオ型ロザリオです。

聖セシリ亞のオープンキャンパスではいつも沢山の小学生が作っています。

作り方をレシピと動画で紹介しますので、オリジナルブレスレットを作ってみてください。

（材料は100均で購入できます。）

●材料●

小ビーズ 6mm・・・20粒
大ビーズ 8mm・・・10粒
十字架（メダイ）等のチャーム
ゴム（ひも）・・・30cm



【完成図】

●作り方●

①ゴムひもに【図A】の順でビーズと十字架（メダイ）等のチャームを通す。

②ゴムひもの両端をかた結びして、輪にする。



【図A】

★下の図のような、10個のビーズのロザリオをつくることも出来ます。



★正式なロザリオ



★ロザリオブレスレット



ロザリオの祈り

キリスト教では、古くから聖母マリアへの祈りが大切にされてきました。アヴェマリアの祈りを繰り返すロザリオの祈りは、私たちが聖母マリアにバラの花束を捧げることにもなるのです。ロザリオという言葉は「薔薇の冠」という意味なので、薔薇の香りのするものや、珠にバラの花を彫ったものなどが多く見られます。

もともとロザリオには、いろいろな形や数え方がありました。現在のような形にまとめ、広めることに貢献したのは、ドミニコ会の創立者聖ドミニコ（1170～1221）だと言われています。ドミニコ会のロザリオが広く普及した理由の一つは「アヴェ・マリアの祈り」の祈りにイエス・キリストの生涯の默想を加え合わせたことにあります。

また、1571年10月、キリスト教徒が、ロザリオの祈りによってトルコ軍に勝利を得たことを記念して、10月7日はロザリオの祈りの祝日として教会暦に定められるようになりました。この教皇ピオ5世による教会暦の制定が、さらにロザリオの祈りを全教会的なものに高めていくきっかけになりました。10月はロザリオの月となりました。しかし、後に、マリア様は人々を敵か味方かに分け隔てをされることなく、すべての人類の母であるとして、戦いの勝利を記念することはなくなりました。

♥ロザリオの祈りはキリストの生涯を默想しながら、聖母マリアの取り次ぎによって、私たちの救いと世界平和の恵みを求めるためにふさわしい祈りです。